

令和2年1月6日

一般社団法人 山梨県診療放射線技師会

第11回ワンポイントセミナー開催案内

一般社団法人山梨県診療放射線技師会

会長 佐野 尚樹

学術担当理事 佐藤 洋一

日頃の当会へのご理解・ご協力まことにありがとうございます。

現在、日本診療放射線技師会では医療被ばく低減施設の認定取得を大きく進めているところです。その旗印として“全国 250 施設以上の医療被ばく低減施設誕生による診療報酬への反映を”といったものがあります。11月には100施設を突破し、その数を順調に増やしております。

今年度のワンポイントセミナーでは医療被ばく低減施設にテーマを絞り、認定取得のノウハウを学ぶシリーズとして企画しており、8月22日にはNo.1として医療被ばく低減施設を知ることからスタートし、10月10日開催のNo.2では必要な線量評価や施設での実践などについて学びました。

これまでに学んできたように、医療被ばく低減施設の必須審査項目には、医療被ばく線量の管理と記録、認定資格者の存在がありますが、これは何より市民の方々から医療被ばく相談を受けた時に根拠に基づき適切に説明できる能力と体制の保持と提供により、安心して放射線診療を受けていただく点にあります。

今回は本認定の大きな柱であり、今後私たち診療放射線技師に責務として求められるであろう“医療被ばく相談”に焦点をあて、取り組むにあたって足腰となる部分について日本放射線カウンセリング学会副会長であり放射線カウンセラーでもある群馬県立県民健康科学大学・五十嵐博先生を講師にお招きし、実習も交え学びを深める内容として企画いたしました。

万障お繰り合わせの上ご参加くださいますようお願い申し上げます。

○ 日 時：令和2年2月28日（金）18：30～20：15

○ 会 場：山梨県厚生連健康管理センター 4F 多目的ホール

○ 参加費：会員は無料（非会員500円）

○ 参加申込：不要

○ プログラム

18:30～18:45 製品紹介 被ばく線量管理システム「Fino.X Manage」

コニカミノルタジャパン株式会社 宮田 徹

18:45～20:15 シリーズ企画「医療被ばく低減施設」No.3

「医療被ばく相談について ～相談への基礎～」 話の聞き方が相手に与える影響

群馬県立県民健康科学大学診療放射線学部 准教授 五十嵐 博

以上、よろしくお願ひいたします。